



防災フェスタ

実施報告 平成30年11月16日(金)

防災委員会

事務所協会会議室にて、防災フェスタと称して、避難所運営訓練の『HUG』、『AED実地研修』、『備蓄品研修』と3種類の研修を実施した。

参加者は協会員17名にて、午後1時より4時半までの研修となった。

悩む相原会長▶



まずはHUGの研修から実地した。

HUGとは、H(避難所)U(運営)G(ゲーム、試し)の頭文字からHUGと名づけられたもので、その訓練は発災直後からライフラインが復旧するまでの間、避難所を運営するに当たり、押し寄せる避難者をどのように配置するか、又、直面する諸問題を運営委員となった参加者が協議し避難所を運営していく、シミュレーションとなっている。

今回は時間が無く、参加者の途中交替により、全員が体験することができた。意見が分かれた諸元は『ペット同伴』についてであり、どう解決するか協議が白熱した。

次に津市中消防署西分署の宮田様 久保田様はじめ6名の署員の方々に来ていただき、胸骨圧迫、AEDの実地研修を行った。

人形を使い、胸骨圧迫(心臓マッサージ)を教示いただき実地した。かなり体力を消耗する為、一人ではなく交替の人員確保も重要であることを教わった。

その後AEDの実地では、胸骨圧迫する人との連携が必要であることがわかった。

体験後、参加者からの質問が数多く寄せられ、中消防署西分署の方々から回答していただいた。



中消防署西分署の皆様



呼吸の確認

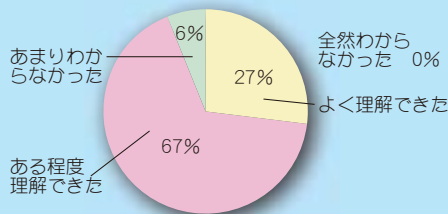


汗だくの参加者

最後に、現在協会が備蓄している備蓄防災用品の確認と備蓄非常食を試食した。先の胸骨圧迫で体力消耗していたこともありなのか、「非常食とはいえ、なかなかいけるな」との声も上がっていた。

今回参加者のアンケート結果を抜粋掲載します。参加者の皆様お疲れ様でした。

Q1. 避難所運営ゲーム(HUG)をやってみていかがでしたか？



Q2. 避難所運営において最も重要と思う対策はどんな事ですか？

- ・リーダーの選出・養成が重要
- ・リーダーシップ及び状況把握
- ・役割分担・指示系統の大切さ
- ・ペットの扱い

その他、ご意見、ご感想があればお聞かせください。

- ・AEDの作業が改めてわかった
- ・救命処置が参考になった
- ・HUGはまだまだ理解が必要と感じた



皇學館高等学校

進路ガイダンスに出席

広報・渉外委員会
平成30年11月16日(金)

将来、建築・インテリア関係への進路を考えている高校生に対して、その仕事の内容について説明し、面談出来ないかとの依頼に応え、高校に向向いてまいりました。

各2名ずつ、2回に分けて面談形式で、建築士の資格取得のことや、仕事の内容について持参した資料を基に説明をしました。

偶然、4名の生徒とも建築の設計に興味があるとのことで、こちらとしても力が入ります。進学を考えている学校選びのことや、仕事の面白みについてなど幾つか質問も受け、我々にとっても新鮮で有意義な時間となりました。



前会長 濱出進氏

三重大学にて特別講義

広報・渉外委員会
平成30年11月27日(火)

前会長の濱出進氏が三重大学工学部建築学科において、3回生を対象に『建築行政』の科目の中で特別講義を行いました。

講義タイトルは『建築士事務所のうらばなし』冒頭、建築士に求められる資質・建築士事務所

を取り巻く社会の環境と実際の業務の説明から講義は始まります。

その後は、濱出氏自らの経歴や経験を交えながら、建築関連団体の中での活動内容・中越沖地震での被災状況の説明・設計事例の紹介などその内容は多岐にわたりました。

普段の講義では聞けない、実際の建築設計の現場の話に、約50名の生徒の皆さんは、真剣に耳を傾けていました。

近い将来、彼らと社会の中で共に建築を創る日が来ることを楽しみにしています。





鈴鹿支部

鈴鹿支部では平成30年7月7日に毎年恒例のバーベキュー大会を開催し、会員の親睦と家族サービスを兼ねたいい機会となっております。

また、平成30年10月14、15日に近年行っております支部研修旅行を実施し今年度は東京都に行きました。建設中の国立競技場や東京スカイツリーなどを見学し参加者からも好評いただいておりますので今後も引き続き継続できればと考えております。

また、鈴鹿市の事業である住宅耐震化緊急促進アクションプログラムである住宅耐震診断の普及啓蒙活動に参加しています。今後も行政の事業への参加も積極的に行っていきたいと考えております。



津支部

津支部は今年度も様々な活動を行っています。

例会ごとに賛助会員等から最新の製品情報他、施工事例等の研修会を開催しています。

また、10月7日(日)には恒例の「津まつり」に参加。イベントブースの出店を行いました。

当日は建築士事務所のアピールとして建築相談会を開催し、エコバッグ作りのイベントを行いました。専用のクレヨンで自由に描いてもらい、多くの一般参加者にお越しいただき、170名の方々にエコバッグ作りを通して、三重県建築士事務所協会の周知を図りました。

津市公共建築物建築設備定期検査業務についても積極的に会員間で請け負いました。

例会の後には懇親会を行い、年末には恒例の忘年会を控え会員相互の研鑽・親睦を通して地域社会での設計監理を担う団体として、今後とも活動を継続していきます。





松阪支部

松阪支部は現在 10 社の会員で運営しています。

松阪では建築設計・施工に携わる会社同士の情報交流の場として結成されている「松阪建築協会」の会員にもなり、多種多様な施工関連会社とも意見交換しながら協力し合って活動しています。

例年 8 月には懇親会もしくは懇親旅行を計画し、今年は 9 月に相差へ懇親旅行に行き、‘海女小屋’を満喫しました。



10 月には松阪商工会議所主催で開催される「なんでも相談会」に毎年参加させていただいており、建築全般にわたる一般からの相談を受けるブースを開いています。

その他、不定期ですが上述の松阪建築協会から新開発された建材、建築工法についてメーカー、技術会社等を派遣していただいて、情報提供をいただく勉強会を開催しています。

伊勢支部

伊勢支部は現在 32 名の会員で構成されています。

隔月に定例会として、支部長報告・理事会報告・支部委員会報告および研修会を行い会員の相互協力と研鑽に努めています。また隔年に視察研修旅行を実施し、建物等の見学を行うとともに、会員の親睦を深める機会となっています。

平成 30 年 4 月 9 日	平成 30 年度通常総会
平成 30 年 6 月 12 日	例会
平成 30 年 8 月 7 日	例会・研修会（デッキ合成スラブについて）
平成 30 年 10 月 16 日	例会・研修会（伊勢市役所との意見交換会）
平成 31 年 1 月 7 日	新年会
平成 31 年 2 月 中旬	例会





●松阪支部●
Ryo
Architect
Design

- 所在地：〒515-0002 松阪市郷津町227-5
- TEL：0598-53-0358
- FAX：0598-54-0357
- 代表者：見永 亮介
- 設立：平成24年5月24日



設立して6年目、住宅設計を中心にやっているつもりですが、なかなか住宅設計の仕事は数が少ないのが現状です。住宅以外の仕事にも建築の面白さや発見があり、建築は常に進化しそれに対応していく努力が必要だと考えさせられます。設計スタンスは、周辺の環境全てに配慮し、じっくりと時間をかけてお客様と信頼関係を築いていき、決して自己満足の設計にはしないことを、心がけていくことを考えながら設計をしています。

事務所紹介

- 所在地：〒516-0804 伊勢市御園町長屋2639番地
- TEL：0596-22-8800
- FAX：0596-22-8811
- 代表者：山本 健司
- 設立：平成8年4月1日

●伊勢支部●
株式会社
山本設計



早いもので伊勢の地に事務所を開業して四半世紀近くの時間が過ぎました。

平成という元号の時代を、何も判らないひとりの若造が右往左往してスタートし、数々の試行錯誤と失敗と反省を繰り返しながらも先輩方にア

ドバイスを戴き何とか今日に至っております。【感謝】

今後は時間軸を再考し、わたくし共々事務所の経験値を基に微力ではございますが地域の発展と先輩方が、構築された創造的空間を次世代へと繋いでいけるよう少しでもお役に立てればと思っております。

今後も今まで同様、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。





- 所在地：〒517-0502 志摩市阿児町神明1113-30
- TEL：0599-43-0266
- FAX：0599-43-2951
- 代表者：片山 正司
- 設立：平成23年8月10日

●志摩支部●

建築設計
間34(マサンヨン)

急ぎよ自宅の一室を改修し、建築設計事務所を設立から7年が経過しました。

いつも締切に追われる日々を過ごしています。

先日も民泊の相談を受け、初めての案件でしたので役所の窓口等で、いろいろ調べ大変勉強になりました。

建築基準法の改正等、変わり続ける状況に、取り残されない様に頑張っていきたいと思います。

事務所紹介

●伊賀支部●

意匠計画

- 所在地：〒518-0036 伊賀市法花1666
- TEL：0595-20-1306
- FAX：0595-20-1318
- 代表者：稲沢 守次
- 設立：平成3年11月1日

意匠計画を開業して28年。

たまりにたまった資料等で、とてもデザインが出来る環境とは言い難い状況の中、一枚の無垢材と出会った事をきっかけに、思い切って断捨離を決行。

ほとんどの資料を大処分し、長さ4メートルのテーブルを、ど真ん中に置くことで、作業と打ち合わせ等、ここで全てこなせる様にしました。

雰囲気ある演出があれば、ひと部屋からでも暮らしは変えられる。





目 安 箱



空家を何とかしたい

伊賀支部 加納 哲也

私は、名張市空家等対策推進協議会に平成 27 年から（一社）三重県建築士事務所協会より依頼されて参加しています。

日本国中、空家は増加の一途をたどり、歯止めがかかりません。空家の利活用も国土交通省が建築基準法の緩和等により後押しされようとしています。

私が生まれた昭和 30 年に、全国の世帯数を住戸の数が上回ったと最近耳にして驚いています。

1980 年代のバブル期に年間 120 万戸以上の新築住戸（共同住宅を含む）が建てられていたのを記憶しています。当時は一戸建て建売住宅も抽選で人気物件となると数十倍の当選確率でした。

当時は、空き家には目もくれず建て続けていました。私は当時建設会社に勤務していたので多忙を極めていたのを覚えています。社会全体も空家問題には関心が無かったように思います。

現在では、三重県でも各市町により進捗状況は違いますが空家対策が進められています。平成 25 年度のデータによると空家率の全国平均は 13.5% で三重県は 15.5% となっています。ちなみに全国で一番空家率が低いのは宮城県で 9.4% で、一番高いのは山梨県で 22.0% です。要因は分かりません。

予測によると 2033 年には空家率が

30.4% を超える見通しです。3 軒に 1 軒が空家となる状況です。治安・防災面からみても好ましい状況ではありません。

私が 3 年程前に在籍していました名張市内の空き家対策協議会では、桔梗が丘地区限定での対策でしたが色々な空家の持ち主から多くの相談が持ち込まれました。印象に残っているのは、相続した家の処遇に困惑されている方が多かったということです。旧耐震基準の家が殆どで、期間限定で国交省からリフォームの助成が有りましたが、新耐震基準適合の条件が高いハードルとなりリフォームを断念されるケースが多くありました。

空家対策の一環として各市において空家活用の無料相談会が開かれています。名張市においても本年 2 月 3 日に「すまいの活用無料相談会」が開催されました。事務所協会にも名張市から参加の要請が有り、2 名参加しましたが、当協会への相談は 1 件でした。リフォーム等の相談が有るかと思っていきましたが、空家のリノベーションを考える家主さんは少ないようです。

不動産関係のブースには多くの人が行列が見られました。空家の売買、賃貸等の相談が多いのではないのでしょうか。意外にも建設業協会への相談はゼロでした。解体の相談も多くあるのではないかと思います。不動産業者に相談されたのでしょうか。

空家対策の有効な決定打は難題でなかなか見つかりません。

某ハウスメーカーは既存住宅のリノベーションで、住宅をこれ以上増やさないとという観点からは良い方策であると思います。

欧米とライフスタイルが違いますので難



しいですが、一つの家に何代にわたって住み続けるように日本もなれば、新築住宅が減少し空家を増やさない一つの方法ではないでしょうか。私事で恐縮ですが、30年前に借金して建てた家のローン返済がなければもっと楽しい人生が送れたのではないかと思います。(今更遅い！)
現在の若者に言いたいのは、見通しができ

ない不安定な社会となった今、新築住宅を建て多額のローンを抱えるより、親の家をリフォームして継承して住み続けるか、中古住宅を買った方がより豊かな人生が送れると思います。

思いつくままにとりよめのない記述となりましたが、皆様方に少しでも思いが伝われば幸いです。



「 酷 暑 」

桑名支部 坂倉 洋二

2018年の夏は最高気温が連続して35度を超える酷暑日が続きました。過去にも暑い夏はありましたが、今年の夏も辛く厳しい暑さとなりました。ニュースでも「最高気温が40度を超える記録的な・・・」というフレーズをよく耳にしました。

そんな酷暑の中、建築現場はいつもどおり進んでおり、現場監理をしていた私は、あまりの暑さに現場に行くのを少々ためらう気持ちになる事さえありました。そういった環境下で働く作業員の姿には頭の下がる思いがしました。

暑さの厳しい現場では熱中症など危険を伴うリスクが大きくなり心配なところでもありましたが、事故や災害もなく無事に完成することができました。

実際この様な状況を目の当たりにし、暑さ対策として、建築現場の工期の見直しや、サマータイムの導入、労働時間の変更及び短縮、完全週休二日制等、たとえ一時的でも法律でルール化する思いきった対策が必

要だと思われます。働き方改革とはいえども建築現場においてはまだまだ改善されていない課題が多いように感じました。

本業の設計においても、建物への暑さ対策について再認識をしたわけですが、空調だけに頼らず、断熱・遮熱の性能をこれまで以上に検討し、建物の庇を大きくして日差しをカットする、無用な開口部を少なくするなど空調負荷を軽減、そして建物の配置を検討する中で敷地の空きスペースを緑化して環境面で貢献していくなど、まだまだ考えられる事が多くあると改めて感じました。

これからも地球は温暖化の傾向であり異常気象の頻度は拡大します。建築界にも大きく影響しているところなどで弊害が現れることだと思います。これは避けては通れない道です。建築に携わる者として社会や環境に及ぼす影響に責任のある設計を心掛けるようにと思いました。





今後を考える

四日市支部 林 満

皆様、あけましておめでとうございます。
又新しい年となりました。

今年は5月1日に新天皇即位となり平成から新元号になり、10月1日には消費税が8%から10%になります。時代の変革期です。建築の業界も書類が手書きからワード、エクセルになり、図面も手書きからキャドにかわりました。これもIT化の一つでしょう。でもこれからは、AI(人工知能)の時代になり、2次元キャドから3次元キャドで内観・外観が動画で見られる。手書きの時代から考えますと、すごい進歩です。建設現場に置きましても、人力の時代から機械化が進み、これからは、AIロボットが危険な作業をするのではないのでしょうか？どの業界に置いてもIT化はほぼ完了

し、これからは、AI化が進むでしょう。

2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、2027年には、リニア開通と今後7、8年の間にさらに時代は進歩し、どういう技術が生まれるのか楽しみです。

自動車業界では自動運転が開発され、金融業界ではキャッシュレス化が進み、仮想通貨まで出てきています。建築の業界でいくらか自動化されAI技術の進歩により図面が出てきても使えるかどうか疑問視される方が多いでしょう。建設現場に置いてもAIロボットが活躍しても人間の目が必要と思われまます。

今の最新のコンピューターでも、すぐ故障しますが、AIロボットも故障したら終わりです。あるAIロボットに“あなたは男ですか、女ですか”と尋ねたら、“真ん中です”と答えてました。“好きな数字は、ラッキーセブンの3です”という事でした。今後10年でどこまで進歩するかたのしみです。



八鬼山荒神堂改修プロジェクトに参加して

紀州支部 植松 顯哉

2004年に世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道・八鬼山越え」として登録され、熊野古道随一の難所として人気を集めています。その「八鬼山越え」のシンボリック的存在であり、三重県有形民俗文化財の「三寶荒神立像」の安置場所でもある「荒神堂」の老朽化が著しく、早急に改修が必要な状況になっていることから、尾鷲商工会議所女性部を中心に、団体代表・会社経営者・登山愛好家や市民有志らが荒神堂の修復を目

指す「八鬼山荒神堂改修プロジェクト」を設立しました。

「荒神堂」は、かつて山岳信仰の中心として、また西国三十三箇所一番札所の前札所として賑わい、多くの市民に愛された所であることを鑑み、歴史的な場所として後代に伝えると共に、古道を歩く人々の憩いの場としてよみがえらせる事を目的として、同じ志を持った賛同者73人で設立されました。

「三寶荒神」は火の神・武の神とも言われており、火災から家を守っていただく為に台所にはお札が貼られており古くから市民が深く関わり、恩恵を受けてきた歴史があり、今後は広く市民運動として活動していきたいと思っています。



New face

新入会員紹介

株式会社 環境開発

代表者 木下 悟

住 所 〒517-0021 鳥羽市安楽島町 77 番地 72

T E L 0599-26-5380

F A X 0599-26-5373



小森設計

代表者 小森 一久

住 所 517-0214 志摩市磯部町迫間 631-1

T E L 0599-56-0505

F A X 0599-56-0506



Ryo. Architect. Design

代表者 見永 亮介

住 所 〒515-0002 松阪市郷津町 227-5

T E L 0598-53-0358

F A X 0598-54-0357



ゆうけい建築事務所

代表者 金谷 英樹

住 所 〒519-1425 伊賀市川西 1738 番地の 58

T E L 0595-45-3227

F A X 0595-45-3227



APED

代表者 駒田 雅俊

住 所 510-8124 三重郡川越町南福崎 14-12

T E L 059-399-7081

F A X 059-399-7082





視点・論点

三重県初の建造物国宝指定

真宗高田派本山 専修寺 せんじゅじ

真宗高田派の本山で、専修寺（せんじゅじ）といいます。三重県の中ほど、津市一身田町に位置し、宗祖親鸞聖人のみ教えをまっすぐに受け継ぐ寺院で、高田本山と通称親しみを込めて呼ばれている寺院であります。その高田派に所属する寺院は全国に600余ヶ寺あります。また、栃木県真岡市にある本寺専修寺（ほんじせんじゅじ）と共に境内の御廟（ごびょう）に親鸞聖人のご遺骨をお守りしています。本山専修寺の境内には数多くの伽藍（がらん）が建ちならび、中でも御影堂・如来堂は平成29年（2017年）11月28日付けで国より三重県初の建造物国宝指定を受けました。加えて、11棟もの国の指定重要文化財を抱える壮大な浄土真宗の本山です。国宝の西方指南抄などの法宝物も所蔵して現代に伝えています。

御影堂 みえいどう 国宝

宗祖親鸞聖人の木像を中央須弥壇上に安置し、歴代上人の画像を両脇壇および両余間に敬置するお堂となっております。畳725枚が敷かれており、全国の現存木造建築の中でも5番目の巨大な堂です。

如来堂 にょらいどう 国宝

御影堂の西に配置され、御影堂と並んで南面するお堂です。「証拠の如来」と呼ばれる阿弥陀如来立像を本尊とし、教義上この堂が伽藍の本堂となります。

山門 さんもん 国指定重要文化財

御影堂の正面にあって、専修寺伽藍の総門。五間三戸二階二重門の形式になっています。これは山門として最高の格式です。

唐門 からもん 国指定重要文化財

如来堂正面にある四脚門。すべて良質の檜を用い、しかも装飾で空間を埋め尽くしたような豪華な建築。天保15年（1844）に上棟しています。棟梁高木光規は如来堂を建てた但馬の孫。

太鼓門 たいこもん 国指定重要文化財

内部に大きな太鼓が吊り下げられている門です。一身田町の人々に、時をづけています。

御廟拝堂・御廟唐門及び透塀 ごびょうはいどう・ごびょうからもん・すきべい 国指定重要文化財

如来堂の西側、小さな石橋を渡って堀の間を抜けたところが、真宗の開祖親鸞聖人の御廟です。南から唐門、拝堂、石橋と続きその奥に親鸞聖人の墓とそれを取り囲むように専修寺歴代住職のお墓があります。

通天橋 つうてんきょう 国指定重要文化財

御影堂と如来堂を結ぶ廊下で、両御堂の縁側にかかっているため高床とし、板張りで、柱間はすべて吹抜けになっています。

鐘楼 しょうろう 国指定重要文化財

梵鐘「慶安5年铸造」（1652）御堂での勤行前に撞かれます。

賜春館 ししゅんかん 国指定重要文化財

明治11年（1878）に貴賓接待用として新築された書院です。明治天皇行幸の行在所として使用されたことがあり、それを祝って「賜春館」と命名されました。

御対面所 おたいめんしょ 国指定重要文化財

5室ずつ3列の座敷からなる建物で、周囲に廊下をつけています。大正初年まで法主が座を設けて、ここから門信徒に対面していました。

大玄関 おおげんかん 国指定重要文化財

大玄関は境内地の中心やや東に位置し、御影堂の北東、対面所の南西に立ちます。

進納所・茶所 しんのうしょ・ちゃじょ 国指定重要文化財

院號・法名を下げた頂く場所で、高田本山へ参詣される方々が御懇志を納めて頂くところです。又、団体参詣の受付も行っております。建物は茶所として重要文化財に指定されています。

（津支部 山路 貴裕）

「真宗高田派本山専修寺」のホームページより